

和光

発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700
国立療養所 奄美和光園
電話 (0997) 52-6311

平成27年5月1日
(2015)

第97号



■表紙.....	1	■日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会…10
■患者様の権利.....	2	■「ふれあい和光塾開講式」に寄せて……11
■退職に寄せて.....	3～4	■永年勤続表彰を受けて……12
■新人紹介.....	5～7	■フットケア指導士認定試験 合格……13
■園内合同歓迎会にて・お花見会……	8	■ハンセン病療養所医療従事者海外研修…14～15
■桜マラソン.....	9	■和光園日誌.....15
■病棟渡り廊下整備工事完了しました…10		■人事異動・編集後記……16

基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



ふれあい和光塾（平成27年4月）

基本方針

1. 入所者個々に応じた医療・福祉を目指します
2. 快適な生活環境と療養生活の充実を目指します
3. 地域との交流を図りハンセン病の啓発活動に努めます
4. 職員の教育・研鑽に努めます

患者様の権利

★人格を尊重した医療を受ける権利

誰でも、どんな病気でも、安全で良質な医療を平等に受ける権利と、個人の人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

★医療に関する十分な説明を受ける権利

検査、治療等について、あるいは他の治療方法について、納得されるまで十分な説明を受ける権利があります。

★個人情報保護の権利

診療の過程で得られた個人情報やプライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれる権利があります。

★診療情報の提供を受ける権利

ご自身の診療録の開示を請求する権利があります。

★検査や治療等の自己決定権の権利

検査、治療法などの選択、あるいは拒否をする権利があります。
また、セカンドオピニオンを受ける権利があります。

患者の皆様へ

- ご自分の健康に関する事を詳しく正確にお話し下さい。
- あらゆる危険を回避するために職員との連携にご協力下さい。
- よりよい医療・療養・生活環境を維持するために入院の規則をお守り下さい。



退職に寄せて

お世話になりました

国立鹿児島病院に就職以来35年の永きにわたり九州各地の国立病院や国立病院機構で勤めさせていただきました。

奄美和光園には平成23年4月から4年間勤務させていただきました。生まれ故郷の施設である奄美和光園で公務員生活の終止符を打つことができ何よりも幸せであったと思っています。和光園での4年間は平成23年4月一般外来の再開、平成25年自治会からの要望による一般入院制度の開始、恵橋の復旧工事、七十周年記念行事や記念誌の発行など多

くの方々の一方ならぬご指導と温かいご支援ご協力を賜り仕事をさせていただき本当に感謝いたしております。

今後は皆様からいただきましたご厚情と数々の思い出を大切に心豊かに健康に留意してまいりたいと思っています。

最後になりましたが奄美和光園のますますの発展と皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りし退職のご挨拶とさせていただきます。

事務長 中村 仁

退職にあたり

穏やかな風、道端のタンポポ、鳥のさえずりが心地よい季節になりました。私儀3月31日を持ちまして定年退職いたしました。在職中は公私とも大変お世話になり御礼申し上げます。

入職当時場所が分からず、やっと辿り着き、ここが和光園かと戸惑うばかりだった事など一つひとつ思い出されます。そんな状態から皆様に支えられて、定年ま

で長い様で短かった様な気がいたします。思い出は尽きません。経験した事に無駄な事など一つもないと思い、今後も少しずつ前に進めるように過ごしたいと思っております。又皆様方のご健康をお祈りしております。

病棟 看護師 押川 久子

39年間の思い出

昭和50年8月に都城病院に採用されまして約39年間勤務しました。

最初のころは右も左も分からず仕事が遅いので先輩技師に「こら何しょっとか、早よせんか!」と怒られてばかりでした。人生の前半はとても忙しい所に居て、夜の呼び出しが有ったり急患が来たり、ま

た家庭では子育てが忙しかったり目まぐるしかったのを覚えています。

最後が奄美大島で良かったです。忘れかけていた生活のゆとりを思い出しました。入所者のみなさんとの夏祭りやゲートボール大会は楽しい思い出になりました。特に入所者のみなさんが検査に来ら

れるとよく話をしました。戦前の有屋の様子やタコ取りの話をお伺いしました。昔話になりますと入所者のみなさんの目が輝いてきたのが印象的でした。検査時間 5 分…お話は30分位でした。とても興味深い話がいっぱい聞けて楽しかったです。有難う御座いました。

奄美は単身赴任でしたので、怒る人（鬼嫁？）が居なくてよく飲みに行き、飲み友達も増えて活動の輪が広がりとして

も楽しい2年間でした。もっと奄美に居たかったですがそうもいきません。今後は宮崎で（鬼嫁と？）楽しく暮らしたいと思います。

どうもお世話になりました。皆様もお元気でお過ごし下さい。有り難う御座いました。

研究検査科 田代 利治

和光園における33年の時間

私の和光園人生は昭和55年10月1日より始まった。

当時地元では1年間を通して働ける職場が無くて迷走しているとき、和光園勤務を紹介していただいた。内心、これで“1年を通して仕事出来る。心配せず生活も送れる。”と精神的にもほっと出来た。

働いているうちに体力作りや様々な資格取得と心に余裕も生まれた。仕事を通して自分なりに入所者とも触れ合い、毎年体力の許す限り様々な行事（イベント）等に挑戦するうちに、気がついたら58歳になっていた。

時折昔を思い出しながら仕事をしていくうちに、ふと自分を見つめた時に“自分は現状に満足してはいけない。自分が昔から描いてきた夢を達成しなくては！”

「少年易老学難成 一寸光陰不可軽」

（少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んずべからず）

「未覚池塘春草夢 階前梧葉已秋声」

（未だ覚めず池塘春草の夢 階前の梧葉ちとうしゆんそう ごよう すでに秋声）

の気持ちが心に燃え上がってきた。40年間心に育て続けてきた大きな夢を「今！」と思い人生の…いや仕事の1頁に終止符を打つ決心をした。

和光園での仕事や生活を振り返ると、仕事（トレーニング）を通して培った気力体力に自信が持てる状態に仕上がった。33年間の和光園生活を通して「mental & spirit or muscle body training」が出来た事に感謝！

今になって思うと、就職当時200名の入所者がおり、仕事面でも私生活面でも多くの勉強をさせて頂きました。又息子のようにかわいがってもらい、退職するまで心身共に満たされていた生活が送れたことに感謝しております。

末筆になりましたが、今までお世話になった職員の方々にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

調理師 岩原 公司

新人紹介

事務長 八代 祐二 (やつしろ ゆうじ)

4月1日付で鹿児島医療センターから赴任しました八代祐二と申します。

名前の印象から熊本県出身と思われがちですが、星塚敬愛園のすぐ近く、鹿屋市南町で生まれ育ちました。大学卒業後、多磨全生園に就職し、その後12施設を転勤し今回の異動で13施設目となりました。

性格は体育会系で単純、身体を動かすことが大好きですので、入所者・職員の皆様と共に汗を流したいと思っております。

ご指導宜しく申し上げます。



副総看護師長 後藤 祥子 (ごとう よしこ)

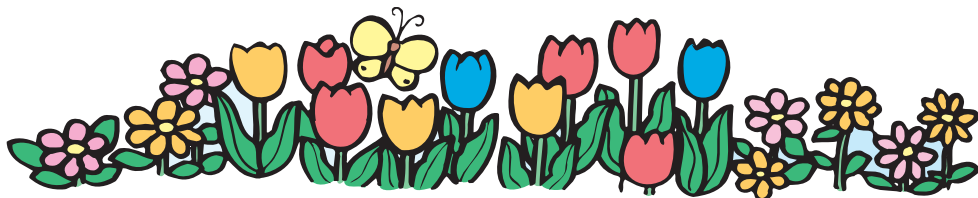
南九州病院から昇任で参りました。出身は鹿児島で、初めての奄美大島です。赴任当初からの園の皆さまの温かいお声かけや励まし、そして雄大な自然に癒やされております。ありがとうございます。

太陽と海が似合わない私ですが、梅雨と暑さを乗り切って、素敵な島娘（すみません。とっくに娘と呼べる年齢ではないのですが・・・）になろうと思っております。

「その人らしさを大切に」の看護理念のもと、全職員一丸となって、入所者の皆さまが安心して穏やかな生活が送れますよう頑張っていきたいと思っております。不慣れな面で、ご心配、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

福祉室長 當間 実 (とうまみのる)

宮古南静園から参りました。出身は沖縄県です。宮古島のさとうきび畑と海の風景から緑に囲まれた奄美和光園に赴任して、環境の変化にも徐々に慣れて、皆様と仲良くさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



看護師長 岩越 はるみ (いわごし はるみ)

4月1日付けで琉球病院から看護師長として赴任しました岩越です。私は、5年前に和光園から琉球病院へ赴任し、認知症専門病棟で副看護師長として勤務しました。この度看護師長として再び和光園で勤務させて頂くことになりました。

5年ぶりの和光園は施設内が整備され、隅々まで清掃が行き届き、職員の服装の統一など「おもてなし」の精神一色に改革されていることに感動しました。このような中で入所者の皆様方に寄り添えることに感謝の気持ちで一杯です。

入所者並びに職員の皆様どうぞ宜しくお願い致します。



薬剤師 田原 直行 (たばる なおゆき)

薬剤科の田原直行と申します。出身地は佐賀で佐賀市の南東部の田んぼに囲まれた所が実家です。

前勤務施設は同じ鹿児島県の鹿屋市にある星塚敬愛園で入所者百六十数名の施設で敷地も広く端から端まで行くのは自転車でも大変でしたが、入所者の方には親切にして頂き良い思い出になっております。

趣味と言うほどではありませんが、景色の良い所などを見に行き写真を撮ったりするのが好きです。

慣れないことも有りご迷惑をおかけすることも有るかと思いますがどうぞよろしくお願い致します。

病棟 看護師 大黒 将志 (だいく まさし)

2月16日に和光園に入職しました。苗字が珍しく「だいく」と読みます。私の出身地は四国の愛媛県です。奄美大島出身の妻と結婚し2年前に奄美大島に移住してきました。少年時代から大学までは野球選手に憧れて野球ばかりしていましたが夢破れて、看護師という新たな道を選び現在に至ります。

現在まで精神科と一般病院の急性期の経験があります。入所者様がより良い生活がおくれるよう看護に努めたいと思います。よろしくお願いします。



ゆらいの郷 看護師 緒方 亜紀 (おがた あき)

皆さんこんにちは。私は奄美市名瀬の出身で、高校卒業後は鹿児島の看護学校へ行き、そのまま鹿児島で就職をして、昨年より家族5人で奄美に戻ってきました。奄美は人も気候もあたたかく、戻ってきてよかったと実感しています。

一昨年の12月までは鹿児島医療センターで勤務していて、主に癌の手術や抗がん剤治療、放射線治療を行っている病棟で勤務していました。和光園で勤務させていただいて、入所者の方と関

われる時間が長く、レクリエーションに参加したり、一緒に散歩に行ってお話をしたりと充実した日々を過ごしています。

私は歌が好きで独身時代は週に1回はカラオケに行っていました。ゆらいの郷では毎週カラオケがあるので、みなさんの唄っている曲を早く覚えて披露していけたらと思います。

みなさんに早く名前を覚えていただけるよう頑張っていきますのでよろしくお願いします。

**ゆらいの郷 看護師 今里 百合子 (いまざと ゆりこ)**

ゆらいの郷に配属になりました、今里百合子です。

①出身地は、福島県福島市です。

②前勤務施設は、奄美病院

③趣味は旅行と、現在ネイルアートの勉強中で、時間をみつけてはネイルスクールで三級の資格取得にも励んでいます。

私のモットー、何歳になっても自分自身に挑戦していく事です。失敗をおそれず、今後も色々なことに挑戦していきたいです。

奄美和光園に入職できたのも何かの縁だと思っています。入所者の方に寄り添い沢山の事を学ばせて頂ける事に感謝し、看護師としての知識、技術、態度を学んでいく決意です。

病棟 看護師 松元 くるみ (まつもと くるみ)

4月1日より病棟配属になりました、松元くるみといます。

看護学校を卒業後、奄美病院で12年間勤務していました。和光園では、これまでの経験を生かし、入所者の皆さん一人ひとりに寄り添った、その人らしい生活が送れるよう、微力ながら努力していきたいと思っています。

また、職場の雰囲気がとても良く、新人研修をはじめ様々な研修が行われており、教育にも力を入れている所だと感じています。研修に積極的に参加し、初心を忘れず、自己研鑽に努めていきたいと思ひます。

私は、龍郷町出身で奄美の自然が大好きです。特に山が大好きでツルや木の実を使って、リースやちょっとした小物を作るのが趣味なので、機会があれば紹介したいと思ひます。どうぞ宜しくお願い致します。

**調理師 福山 祐子 (ふくやま ゆうこ)**

皆さん、こんにちは。4月1日から調理師として入職しました、福山祐子です。

生まれも育ちも名瀬出身で、趣味はフットサルです。以前は老人ホームや保育所で調理の仕事をしておりました。

調理師として入所者の皆さんに「美味しい」と喜んでもらえるような食事を提供できるように、色々と学びながら頑張りますのでよろしくお願い致します。

あまみ保育園 保育士 名和 有美子 (なわ ゆみこ)

初めまして。4月1日より、あまみ保育園に保育士として入りました。

3月まで市内の金久保育所に勤務していました。今までは、子供たちの他、保育士、給食の栄養士、調理師さんしか周りにいませんでしたが、こちらは、入所者の方々や、いろんな職種の職員の方々がおられるので、驚いています。10余年の保育経験を活かして、しっかりと子供たちと関わっていききたいと思ひます。

奄美出身で、親子3人仲勝に住んでいます。ピアノが少々弾けます。どうぞよろしくお願い致します。



園内合同歓迎会にて

今回で3回目となる入所者の方々も参加した園全体での歓迎会が、去る平成27年4月9日(木)に当園「あすなろホール」で開催されました。

今年は転入者5名・採用者6名の新しい仲間が加わることになり、皆それぞれに挨拶を行いました。

さあ、いよいよ開宴です！島ならではの料理やお酒がテーブル一杯に並べられています。舌鼓を打ちながらお酒も進みます。

芸達者な職員が不在となってしまう少し不安もありましたが、どこからともなくカラオケの選曲が整い、焼酎で潤わさ

れた喉を奮い立たせ、歌詞を見つめる瞳は輝き、マイクを握る手にも力が入り、入所者と転入者とがそれぞれに歌い盛り上がりました。

最後は全員による島唄と踊り、「和光園歌」の大合唱により、余韻冷めやらぬまま幕を閉じました。

転入・採用者のみなさん！我ら和光園の雰囲気は感じてもらえたはずです。これから一緒に和光園を盛り上げて行きましょう。

薬剤科長 橋本 雅司

お花見会

平成27年2月5日(木)、お花見会が開かれました。行事がことごとく雨に見舞われる今年度。お花見会も例に漏れず雨になり、あすなろホールでの開催となりました。つい昨日までは和光園内の各所で鮮やかなピンク色の満開に咲く桜が見られ春の訪れを感じさせてくれていただけに、残念です。



足下が悪い中、多数の入園者の方々に参加頂きました。ホール内にプロジェクターを使って見事な桜の写真が映し出され、参加された全員で桜を愛でる事ができました。写真をバックに入園者の方々のカラオケも行われ、和やかな雰囲気の中でお弁当やお茶菓子を食べながら早春の訪れを感じる事のできる楽しい一時となりました。

医事係長
井上 清仁





桜マラソン ラストラン?

昨年4月に赴任してきた方々の影響か(?)、桜マラソン開催日の平成27年2月1日の天気は良くないとの前評判でした。当日、「やっぱり!」朝は怪しい雰囲気マラソン後の花見も無理かと思われた。…がしかし!それに勝る「晴れ男」「晴れ女」のパワーか、天気も回復し暑い中で走る事になりました。

思えば、2年前に中村事務長と放射線技師の吉本さん、そして私の3人から始めた桜マラソンも、馬場先生のたくらみ(sorry!)からこんな大人数に成長しました。昨年はハーフに出場する人はいませんでしたが、今回はハーフ、15Km、5Km、3Kmに参加がありました。残念なことに、昨年15Kmに参加した中村事務長が加計呂麻島マラソンからの“靴の祟り”で膝を壊し欠場したことです。中村事務長は靴が傷むほど練習したのか、又は畑で使ったのか分かりませんが怖いものです。おかげで和光園専属カメラマンに徹して、ナイスな写真を撮ってくれました。(※靴が傷むまで練習しないよう皆さんも気を付けて下さい…。)

話は戻り、結果は全員が無事に完走する事が出来ましたが、こんなにも心が折れるほどに坂道が多いと思わずにハーフにエントリーした私とMr.堀部。途中から折れる寸前の心を何度も支え耐え、軽快に走る当園エース吉田さんを羨ましく、そして尊敬しつつ、後悔しました。「もっと練習すれば…」、それ以前に「もっと短いのにすれば…」。

この後悔の念を唱えながらも、なんとか競技場に入り、みんなが迎えてくれた



ゴール前、満面の笑顔で、「あい!しゃる!りた〜ん!」と心で大声で応えました。

ゴール後は、あんなに折れそうだった心も、大復活!みんなが満足そうな笑顔で写真に収まりました。



そして競技場を後にして、向かうは「本茶峠」。マラソンの疲れはいずこへ!到着するやいなや、段取りなしなのにあっという間に花見会場設営完了。さすが、和光園職員!「運転手さんごめんなさい」の一応の気遣いを持ちつつ「乾杯!」。人より会場を占領しているご馳走に、野生のライオンのごとくかぶりつきました。



奄美で見た花・雲・海、人…ありがとう!来年も都合付けば、このメンバーと「走り隊」ものです。

沖縄より愛を込めて 池原 賢勇

病棟渡り廊下整備工事完了しました

平成26年11月に着工した「病棟渡り廊下」「病室改修」の工事が平成27年3月上旬完成しました。概要としては「病棟～ゆらいの郷」の渡り廊下新設、病棟内の大部屋（8人部屋）の「4人部屋×2室」への改修です。

前年度以前より計画していた改修工事ですが、目的は入所者（不自由者棟）の緊急事態に対応できるよう整備したものです。これにより従来は中央渡り廊下経由で移動せざるを得なかったのですが、スエズ運河のごとく移動時間短縮が可能となりました。でも緊急事態対応用ですので、「使用しない」状況が望ましいと



思います。

そしてもうひとつは、8人部屋を間仕切りで「4人部屋」の2室に改修しました。これは大部屋で男女混在ができず、病床利用が非効率的になっていたものを解消するのが目的です。



約4ヶ月にわたる改修のために、部屋の一時引越しや工事中の様々なご協力、入所者の方々にはご理解いただき、整備を完了することが出来たことを感謝しております。

会計班長 堀口 広文

第171回 日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会

4月19日、第171回日本皮膚科学会鹿児島地方会・総会が鹿児島大学医学部鶴稜会館にて行われました。「Mohs' chemosurgeryが著効したfungating tumorの1例」という演題で、皮膚科一般外来で1年近く治療している症例を報告しました。Mohs' chemosurgery（モーズ療法）は、高齢であったり腫瘍が大きく手術が難しい場合に行われる治療です。亜鉛を含む軟膏で腫瘍を壊

死させます。今回の治療の工夫や診断に対する質問もあり勉強になりました。

鹿児島地方会は1年に3回ありますが、離島ゆえ3回とも出席するのは難しいのが現実です。しかし積極性を忘れずに、これからも診療や学会に臨みたいと思います。

皮膚科 馬場 まゆみ

「ふれあい和光塾開講式」に寄せて



平成27年4月18日(土)、晴天の暖かな日差しの中、「ふれあい和光塾」の開講式を迎えることができました。

本事業は、農業体験を通して、家族のコミュニケーションや国立療養所奄美和光園の入所者の皆さんとの交流を図りながら、ハンセン病についての正しい理解を深めることを目的として始まったものです。

12年目を迎える本年度は、「和光ファミリー」として、新規3家族を含む24家族に登録していただきました。

本事業が12年の長期に渡って継続できているのは、和光園の入所者の皆さんと和光ファミリーがお互いに理解・協力し合っているからだと思います。また、和光園の入所者が、「和光ファミリー」に温かい心で接し、楽しい雰囲気を築いてくれているからなのでしょう。

特に、新しく「和光ファミリー」となり農業初体験の家族にとっては、野菜の作り方などを尋ねると懇切丁寧に教えて

いただき、これ程心強い味方はいません。だから、農業をすることが楽しくなり、来年もまた和光園で農業体験をしたい気持ちになってくるのだと思います。

結びに、園長をはじめ職員の皆さんの御理解と御協力がなければ、ここまで事業は、継続できていなかったと思う。畑の提供は勿論のこと、水道水の提供、耕運機の貸出など本当に有難いことです。

本事業は、ハンセン病問題解決法の基本理念と合致した開かれた療養所の先駆的な取り組みであるとして注目されています。この取り組みが、今後ますます市民へ広がり、ハンセン病に対する正しい知識と理解につながっていくことを心より願っています。

奄美市教育委員会 生涯学習課



平成27年4月18日土曜日、午前9時よりふれあい和光塾が開講されました。

天候にも恵まれ、和光塾ファミリー、奄美市生涯学習課職員、奄美和光園入所者、及び関係職員が参加し行われました。

ふれあい和光塾とは何かと説明しますと、和光園の敷地にある農園を市民に利用して頂き、入所者との交流を深めながら、野菜等を育て、収穫し、共に喜びを分かち合うことが主な内容です。

開講式では、奄美市生涯学習課長のあいさつから始まり、園長の励ましの言葉、ファミリーの紹介、畑使用に関する注意点等の説明のあと、各ファミリーがそれぞれの畑で春植えの準備を行いました。

各畑では、小さなお子さんを連れたご家族や、手慣れた様子で作業をされるファミリーの方、また、慣れない初参加の方に説明する入所者の姿があり、あるベテランのファミリーの方が言っていた、い

い企画ですねという言葉が印象的でした。

これから農作物を育て、収穫を目標に各ファミリーが、農園に通われます。天候に悩まされたり、または、芽が出る喜びであったり、悲喜交々あるかと思いますが、その間にある入所者との交流も深めながら、共に収穫に喜びを分かち合えたらと思います。

最後に、草刈りや耕運機で畑を耕したりして下さった奄美市生涯学習課職員の皆様へ感謝申し上げます。

福祉室長 當間 実



永年勤続表彰を受けて

今年で30年勤続となりました。

私が就職した当時入所者の方々は、機織り、畑仕事や魚釣り、また各寮に集合して皆でテレビを観て野球応援や、茶のみ談笑し過ごされ、お正月やお盆には各寮でお祝いをされていました。しかしある時、「病気に負けてたまるか。自分は意地で生きているよ。」との言葉に一生消えない傷心を背負い生活しているのが現実である事を知りました。

職員間は、先輩方々を始めみんなが優しく協力し合い、入所者の方への思いやりと生きがいを大切にされておりました。また職員親善レクリエーションがあり島

もう20年にもなるのか？入職したころの和光園はちょうど、本館や病棟が新築し入所者の方も100名ほどおられたのが記憶にあります。その頃は賑やかで、ゲートボールも盛んに行われ、昼間の菜園（畑）は多くの入所者が汗を流し声が飛び交っていました。

早いものであれから20年、諸先輩やスタッフの方々に教えられた看護の道、入所者の方々に教えられた生き方など公私共に人生学びの年月だったと思います。

この度、永年勤続20年表彰を頂きました。振り返ってみると作業班に1年、給食に4年、その後ボイラー勤務となりました。

入職したころは20代半ばだった私も、今では一家の主として頑張っています。何も分からない私に指導してくれた入所者や職員の方々に感謝し、これからも努



内巡りや沖永良部や沖縄へ参加した事は忘れられない楽しい思い出になり、更には職種間の連携に繋がっていったのではないかと感じております。

和光園で勤務した看護人生を振り返ると沢山の思い出が出来ました。これからもその思い出を大切にして行きたいと思ひます、ありがとうございました。

病棟 看護師
押川 久子



定年まで残り数年となりましたが、皆さんに支えられここまで仕事できたことに感謝しこれからも頑張っていきたいと思ひます。今迄ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

病棟 看護師
仲田 ノリ江



力を重ね日々精進していきたいと思ひます。

副ボイラー技士長
大山 裕史



日本フットケア学会 フットケア指導士認定試験 合格

おととしの秋に、ふと考えました。

2011年（奄美に来て1年目）、和光園の仕事や奄美の暮らしに慣れるのに、あっという間でした。2012年、皮膚科一般診療を通してどのように地域貢献ができるか、試行錯誤でした。90%以上の患者さんにスキンケアの大切さを説明した気がします。2013年、皮膚科一般入院が始まりました。手探り状態でしたが、入所者とのトラブルや大きな混乱もなく、スムーズに軌道にのりました。そして、秋、ふと考えました。

「2014年は、入所者や地域のために何ができるだろう？」

そして至った結論が、「フットケア」です。高齢者の97%が足の爪や皮膚に対して何らかの処置が必要とされるといわれます。「何らかの」とは、タコやウオノメ、白癬、皮膚潰瘍と多岐にわたり、場合によっては切断という選択に至るものもあります。今までも、皮膚科専門医として、タコやウオノメの処置、白癬や皮膚潰瘍の治療は行ってきました。しかし、基本的に「皮膚」を中心に考えています。ウオノメを繰り返す場合、皮膚潰瘍が治りにくい場合、「血流は？」「末梢神経障害は？」「靴は？」と総合的に考え、積極的に指導することができたかと問われると自信がありません。

和光園の入所者も、程度の差はあれハンセン病後遺症による末梢神経障害に加え、高齢化による足の変形や視力低下、高血圧や糖尿病に伴う血流障害と、足病変のリスクは高くなる一方です。積極的に予防に関わり、根拠をもって治療にあたるため、1年間勉強し、試験を受け、フットケア指導士に認定されました。

しかし、フットケアはチーム医療です。

1人ができることには限りがあります。2015年は看護師や専門職から成るフットケアチームを作り、入所者の足を、そして生活を守るように、少しずつ活動の場を広げていけたらと考えています。また、フットケアチームから次々と指導士が生まれ、地域に誇れるフットケアチームに成長することを願います。

皮膚科

馬場 まゆみ



ハンセン病療養所医療従事者海外研修

平成27年2月15日～2月21日の7日間、フィリピン共和国（マニラ：WHO西太平洋事務局・クリオン島のハンセン病療養所・ハンセン病資料館またセブ島の皮膚科クリニック・ハンセン病療養所・研究所など）へ視察に行ってきました。今回の研修では、フィリピンにおけるハンセン病の保健・医療の最前線の現状（多種多様な皮疹をもつ多数の患者様の診察状況の見学など）を経験することができたことは、ハンセン病後遺症をもった入所者の方しか接したことのない私にとって重要な経験となりました。

フィリピンでは、2014年の新規の発症者656名と日本におけるハンセン病患者の現状とは異なる面が多いのですが、クリオン島の療養所のように以前ハンセン病だった方々の4世代までが一緒に暮らしている現状など、国の政策の違いや文化の違いを知ることができました。

今回、国や文化や現状が異なっても「患者さんの生活を支え、整えること」が重要である事を再認識することができました。

今後、「入所者の方々によりよく年齢を重ねていただくには、どのようなケアをおこなえばよいか」または「認知症ケア」にどのように対応していくか、我々ハンセン病療養所職員の課題であります。今回、学んだり感じたりしたことをしっかりベースにおいて、より良い方向に活かしていければと思っています。

ゆらいの郷
看護師長 面高 康成



クリオン療養所 ハンセン病資料館にて



クリオン療養所 ハンセン病資料館



環太平洋WHO支部にて



環太平洋WHO支部にて



クリオン島の水上の建物



フィリピンでの食事



エバースレイ・チャイルズ療養所の子供たちとの交流

和光園日誌

(平成27年2月1日～平成27年4月30日)

- | | | | |
|--------|----|-----|--------------------------|
| H 2 7. | 2. | 4 | 永年勤続表彰 |
| | 2. | 5 | お花見会 |
| | 2. | 1 9 | 九州厚生局 医療法検査(病棟)(20日まで) |
| | " | | 厚労省病棟用渡り廊下整備工事下検査(20日まで) |
| | 2. | 2 4 | コミュニケーション研修 |
| | 2. | 2 5 | 消防訓練 |
| | " | | 敬愛園より転園 87才男性(35名→36名) |
| | 3. | 5 | 医療安全職員研修会 |
| | " | | 一般入院 65才 男性 |
| | 3. | 6 | 一般入院 66才 男性 |
| | 3. | 2 4 | 合同送別会(サンプラザホテル) |
| | " | | 一般入院 64才 男性 |
| | 3. | 3 1 | 辞令交付(定年・退職) |
| | 4. | 1 | 辞令交付(採用・転任・配置換) |
| | 4. | 9 | 歓迎会 |
| | 4. | 1 8 | ふれあい和光塾開講式 |
| | 4. | 2 2 | 入所者レクリエーション(土浜) |
| | " | | 入所者死亡 94才女性(36名→35名) |
| | 4. | 2 3 | 一般入院 89才 男性 |

人事異動

(平成27年 2 月 1 日 ～ 平成27年 4 月30日)

H27. 2. 16	大黒 将志	看護師	採用 (臨任)
H27. 2. 25	山口 千春	看護師	復職 (育児休業)
H27. 2. 28	國 絵里香	作業療法士	辞職
H27. 3. 1	緒方 亜紀	看護師	採用 (臨任)
H27. 3. 31	中村 仁	事務長	定年 (退職)
	押川 久子	看護師	定年 (退職)
	政 絹代	准看護師	定年 (退職)
	岩原 公司	調理師	辞職
	田代 利治	臨床検査技師	任期満了
	松平 茂子	看護師	任期満了 (臨任)
	金井 瞳	看護師	任期満了 (臨任)
	緒方 亜紀	看護師	任期満了 (臨任)
	柴 美津子	看護助手	任期満了 (賃金職員)
H27. 4. 1	福重 克章	福祉室長	出向 (沖縄愛楽園へ)
	堀部 充孝	薬剤師	出向 (NHO広島西医療センターへ)
	稲留 朱美	副総看護師長	出向 (NHO宮崎東病院へ)
	池原 賢勇	看護師長	出向 (NHO琉球病院へ)
	納 春美	看護師	昇任 (菊池恵楓園へ)
	八代 祐二	事務長	転任 (NHO鹿児島医療センターから)
	當間 実	福祉室長	昇任 (宮古南静園から)
	田原 直行	薬剤師	転任 (星塚敬愛園から)
	後藤 祥子	副総看護師長	昇任 (NHO南九州病院から)
	岩越 はるみ	看護師長	昇任 (NHO琉球病院から)
	篤 真奈美	看護師	復職 (育児休業)
	金井 瞳	看護師	採用
	緒方 亜紀	看護師	採用
	松元 くるみ	看護師	採用 (臨任)
	今里 百合子	看護師	採用 (臨任)
	政 絹代	准看護師	再任用
	安田 けい子	介護長	昇任
	柴 美津子	看護助手	採用
	名和 有美子	保育士	採用 (期間業務職員)
	福山 祐子	調理師	採用 (期間業務職員)

編

集

後

記

朝職場に来て、窓を開ける…。四方は山、薄い朝霧、鳥のさえずり、心地よい緑風。標高千m級の「深山の郷」にいるかのような錯覚に陥る。山の向こうに海があるとは思えない。赴任前は、花にほとんど興味を示さなかった私が、自然豊かなこの島では、花を「凝視」するようになった。自生の花木のすばらしさに感動が続いた。いまでも、もう撮ったことがあるであろう花を何度も撮る。残すのが目的でなく、「見つめる」のである。一番感動を受けた花・・・「花は鶏冠」「葉は羽根」「実は尻尾」、伝説の鳥「鳳凰」の姿。去年は淋しさ覚える少なさだった。2年前は、何百もの鳳凰が飛んでいた。夏はもうすぐ、さて今年はどうだろうか。

編集委員 堀 口 広 文